

添付資料2 有識者・アドバイザーからのコメント

＊有識者・アドバイザーへのお問い合わせは、国際文化会館宛にお願いいたします。

敬称略、五十音順



ジョシュア・ウォーカー

ジャパン・ソサエティー（米）理事長。政治学博士。

現在のように地政学的な緊張が高まり、国際交流が最も必要な時には、国家間の対話は逆にますます困難になってしまいます。そのような難しい環境下でも、アートは、共感を育み、人類をつなげる力を持っている。国際文化会館がDICとの協業を通じて文化外交に注力しようとしている事に感銘を受けると同時に、国際文化会館の戦略的なパートナーとして、ニューヨークと東京における芸術分野での協力を楽しみにしています。



大林 剛郎

大林組会長、大林財団理事長。日本を代表する現代アートのコレクター

現代社会において、企業は経済活動を超え、文化や芸術の振興を通じて豊かな未来を創造する責任を担っています。国際文化会館がDIC株式会社が保有するロスコ作品を展示するための「ロスコ・ルーム」を開設することは、まさにアートと社会の結びつきを深める素晴らしい取り組みです。世界的に著名なアーティストであるマーク・ロスコの代表作とも言えるこれらの作品群が、国際文化会館という民間外交・文化交流の場に展示されることで、新たな対話が生まれ、文化的な価値が一層広がり、さらには企業の新たな社会貢献の形を示してくれると期待しています。



片岡 真実

森美術館 館長。2023年度から国立アートリサーチセンター長を兼務。

現代アートの発信地として発展してきた六本木に、マーク・ロスコの重要な作品を常設する場所が新設されることを大変嬉しく思います。若い頃に米国テキサス州ヒューストンにあるロスコチャペルを訪れ、荘厳な空気と融合した芸術体験は忘れられない思い出となりました。国際的な知的交流の拠点としての役割を長らく果たしてきた六本木の地に、国境や文化を越えた対話のための場が生まれることを心から待ち望んでいます。

Photo: Shintsubo Kenshu



寺田 航平

寺田倉庫代表取締役社長。経済同友会副代表幹事、ACC 日本財団副理事長を兼務。

アートは人の心を大きく動かす力を持っています。私達はアート保管の世界から、アートのエコシステムの活性化やアートを活用したまちづくりを通して、アート業界の発展に向けた様々な課題解決や問題提起を行って参りました。ロスコの作品には、人の心に大きく働きかける精神性があり、それが国際文化会館がこれから創る知的空間と響き合うことで、新たな対話や創造的な発想が生まれ、日本の新しい未来の創造や、この場所自身が世界との架け橋となれる事を確信しております。



ライオネル・バーバー

FT 編集長（2005-20 年）、テート・ギャラリー評議員・会長（2011-21 年）

国際文化会館で開設される SANAA 設計の「ロスコ・ルーム」は、アート・建築・自然が見事に融合し、世界中のアート愛好者が間違いなく訪れるべき目的地となるでしょう。芸術的な価値を超えて、この取り組みは、アートがどのように文化外交を促進し、未来の企業がどのようにして芸術を支援し続けるかを示すものとなるでしょう。



森 京子

森美術館理事長。大林財団評議員や東京交響楽団理事を兼務。

六本木は、世界的なアートの発信地として、多様な文化が交差する特別な場所です。この地に、DIC 川村記念美術館からロスコ・ルームを迎える計画は、都市とアートの融合という観点でも意義深いものと確信しております。国際文化会館に世界的にも貴重なロスコの作品がまとまって展示されることは、訪れる方々に新たな感動や創造性をもたらし、森美術館と共に六本木の文化都心としての価値を一層高めていくことでしょう。この試みが、アートと社会の結びつきを強め、未来への豊かなビジョンを共有する場となることを心より期待しております。

2025 年 5 月 23 日追加更新



清家 愛

港区長。「愛があふれる国際都市 港区」を皆さまと共につくる。

このたび、国際文化会館と DIC 株式会社の協業により、ロスコ・ルームをはじめとする貴重なアートが六本木に迎え入れられることは、港区の文化的魅力をさらに高め、世界中から人々を惹きつける大きな力となるでしょう。同時に、アートは未来を担う子どもたちが感性を育み、「愛にあふれる国際都市・港区」の実現に大きく貢献してくれるものと期待しています。

■ 問い合わせ

公益財団法人国際文化会館 広報グループ

MAIL : pr-r@ihj.global TEL: 03-3470-9810

〒106-0032 東京都港区六本木 5-11-16